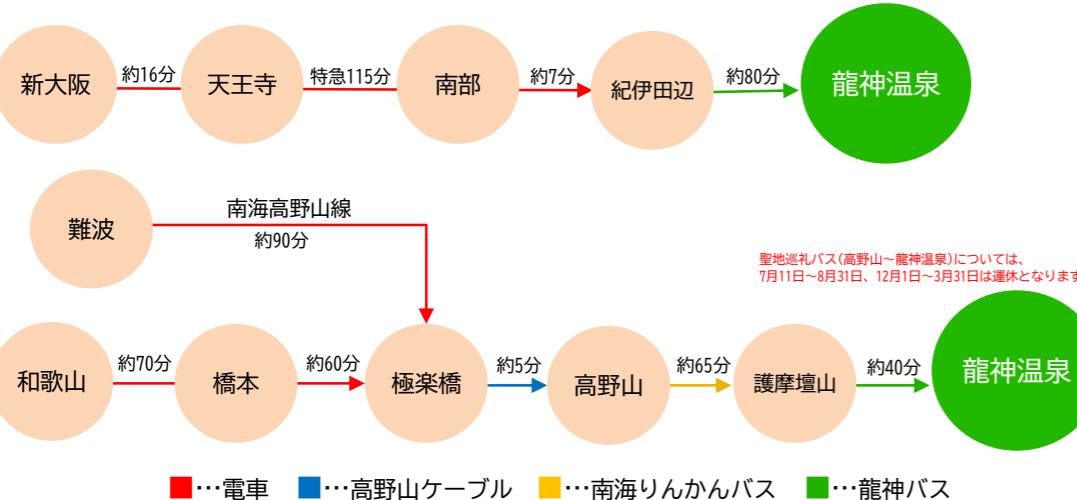


列車・バス（公共交通）をご利用の場合

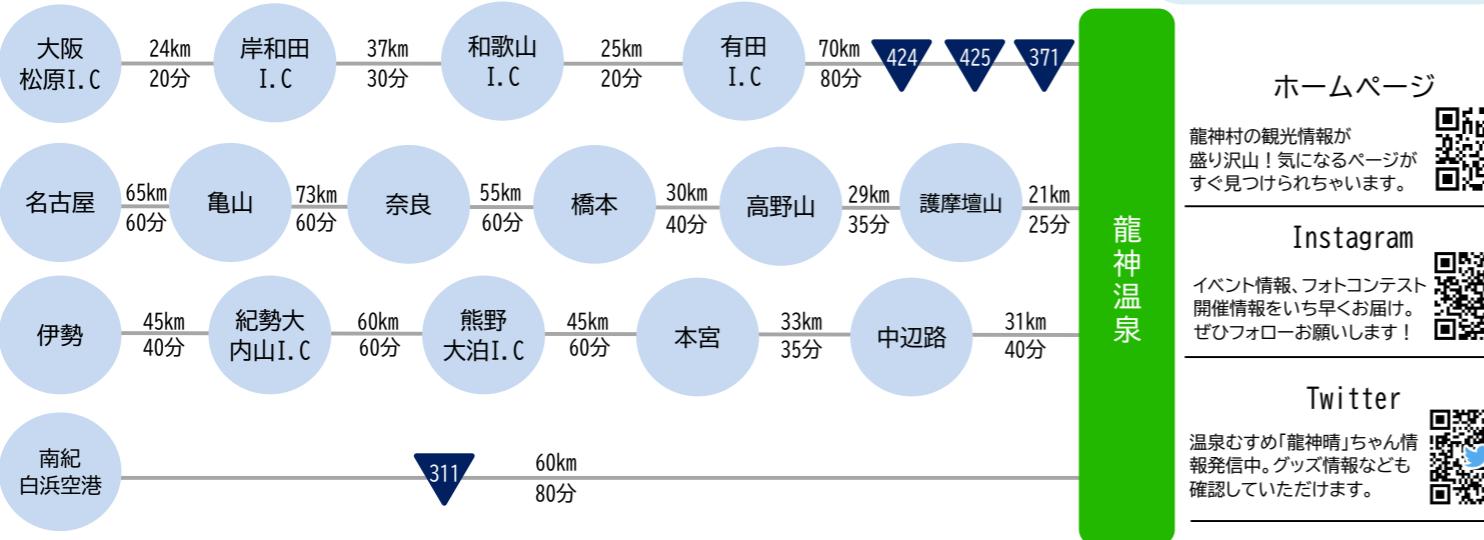


交通機関お問い合わせ

□龍神自動車 (0739)22-2100
□南部タクシー (0739)22-2608
□南海りんかんバス (0736)56-2250
□高野山タクシー (0120)372-628
□白浜第一交通 (0739)42-2916
□明光タクシー (0739)42-3751
□熊野第一交通本社 (0735)22-6313



マイカーをご利用の場合



飛行機をご利用の場合

関西国際空港から

JR関西国際空港線・日根野駅乗換で特急列車にて約1時間半でJR紀伊田辺駅到着。
JR紀伊田辺駅から龍神バスで約1時間20分で龍神温泉へ。

羽田国際空港から

空路南紀白浜空港まで約1時間15分。JR白浜駅までバスで20分、乗り継ぎJR紀伊田辺駅から、龍神バスで約1時間20分で龍神温泉へ。



編集後記

専務理事 前田 敦司

情報誌「龍神観光マガジンvol.7夏号」をお読みいただき、ありがとうございます。

今年は、近畿地方は10年ぶりの5月中の梅雨入りとなりましたが、この前の休日、久しぶりに天気がよかつたので、ごまさんスカイタワーに行ってきました。

見渡す景色は、青い空と緑の山々が広がり、とてもきれいで、金ごまソフトクリームを食べてから、護摩壇山の山頂まで行ってみました。案内板に500mと書いていたので、余裕と思って上り始めましたが、すぐに息が上がりてしまい、日頃の運動不足を痛感しつつも、「空気が薄いのかな」と自分に言い訳をしながら上っていました。木々の中では、いろんな鳥の鳴き声が響き、また、少しひんやりした風も、とても心地よく感じました。

山頂に着くと、ウグイスのさえずりが聞こえ、その声を楽しみながら写真を撮り、少し休憩し呼吸を整えてから、駐車場に戻りました。日々の運動を心がけて、今度は龍神岳まで行きたいと思います。

梅雨が明ければ、いよいよ夏がやってきます。本誌をお読みいただいている皆様にも、夏の龍神村の爽やかな青空や雄大な山々の眺望、そして、澄んだ水や空気をぜひ感じていただければと思います。皆様のお越しをお待ちしています。

あわせて、引き続き本誌をご活用いただきますようお願いしますとともに、次号もご期待ください。

RYUJIN KANKOU

MAGAZINE

龍神村の知らない魅力が見つかる情報誌

龍神村でいいもの見つけた！

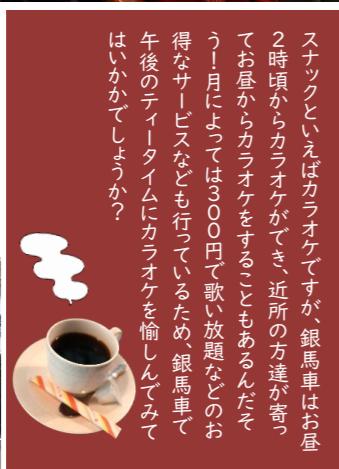


銀馬車

長年続く地方の方達の憩いの場



銀馬車(喫茶・スナック)
〒645-0415 和歌山県田辺市龍神村西403-6
☎0739-78-0344
営業時間:8時~23時 年中無休(日曜日はお昼まで)



スナックといえどカラオケですが、銀馬車はお昼2時頃からカラオケができ、近所の方達が寄つてお昼からカラオケをすることもあるんだそう！月によつては300円で歌い放題などのお得なサービスなども行つてゐるため、銀馬車で午後のティータイムにカラオケを愉しんでみてはいかがでしょうか？



和歌山ラーメンも
600円で提供中！



お食事など値段は今まで通り、また、できるだけ「サービス満点」を心がけており、そのサービスでお客さんには喜んでもらえると私も嬉しい気持ちになります。

銀馬車は今年で50年目を迎えますが、今までたくさんのお客さんから来てもらえて楽しかったですし、感謝しています。

お酒が飲めなくとも良いんです。お茶をしに、歌が好きな人は一曲歌いに、銀馬車に是非お越しください。



A close-up photograph of a white plate containing three triangular halves of a sandwich. The sandwich is made with white bread and filled with layers of ham, cheese, and lettuce. To the side of the sandwich, there is a small dish of pickles. The background is slightly blurred, showing a restaurant setting.



そしてここには最近までご神木として樹齢400年余とされる榎(エノキ)の大木がひつそりと佇んでいました。しかし数年前の台風により大木は倒れてしまい現在はその姿はありません。倒れる前の榎は胸高周囲約6.5m、高さ約30mと大層大きい古木であったときれていますが、1950年のジエーン台風により大枝が折れ、以降幹が空洞となり、近年ではそれを倒すまいとして直径約15cmのツタカズラが抱き留めている状態だったそうです。この立派な大木には地域の古老のこんなお話をあつたのでご紹介します。

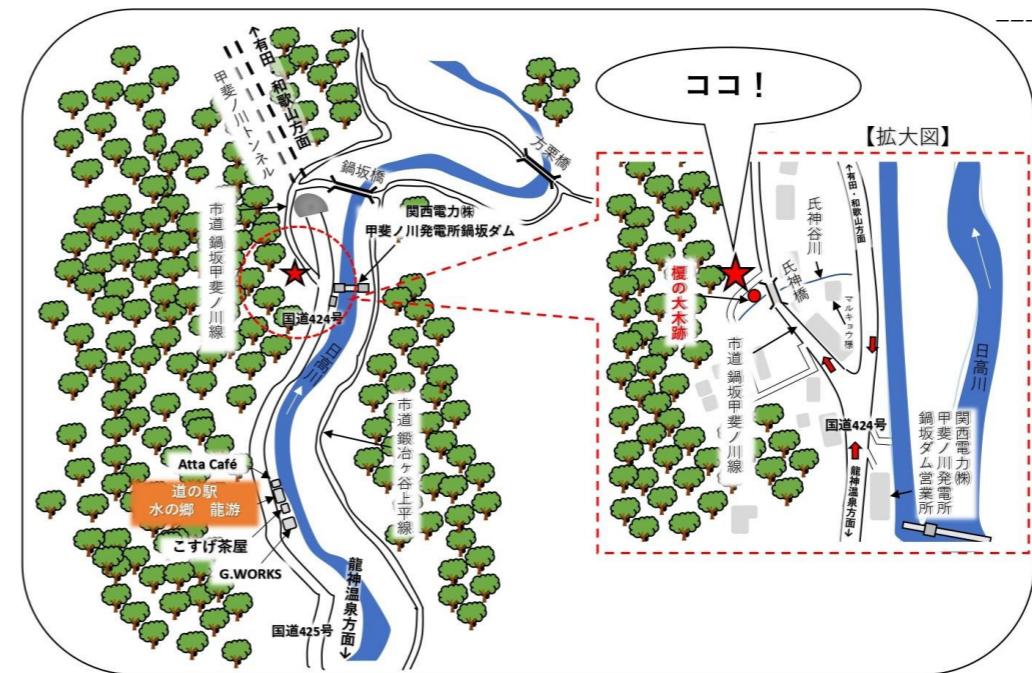
「その昔、神無月に出雲へ旅立つこここの氏神は、夜を徹して歩かにやならなんだ。」なでえこの森には神さんが天へ昇るのに大切な大木が無い、そこで仕方なしに歩いてたんじや……気の毒に思うた若もんがここへエノキを一本植えた。純な氏子の心が通じ、その木はみるみる内に大木に育つた。喜んだ氏神はこの木を登り天を翔けて出雲へ行き来できるようになつたんじやあ。そこで神さんが留守になる間も短くなつて氏子も無事息災。」

龍神村福井地区、国道の脇道に入った鍋坂峠の麓に鍋坂氏神の社があります。鍋坂氏神社はその名のとおり鍋坂地域の氏子が祀る御祭神で、御神体は杵（きね）であり、五穀豊穣等の農耕信仰と鍋坂峠の麓にあることから道祖神の役割もあつたのではと考えられます。この社に吊り下げられている鰐口には宝暦十一年（1761年）巳五月吉日下福井邑施主梶半之丞との銘があり、今より262年も昔にはすでにこの氏神社が存在し永く地

鍋坂氏神と大木

鍋坂氏神

龍神まほろぼう



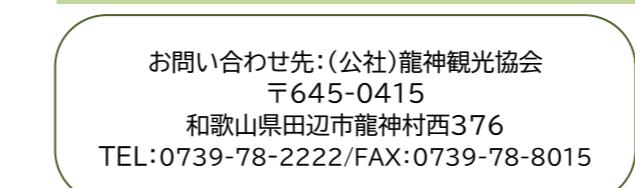
すでに樺の大木は折れてしましましたが
折れ跡の株からは次世代の大木となるべく
若い宿り木が生えてきます。古老のお
話のとおり地域の氏子を守るため、氏神様
のお力で早く大木になろうとしているのか
もしれません。今回は鍋坂氏神と大木のお
話でした。

2024年辰年キャンペーンを開催

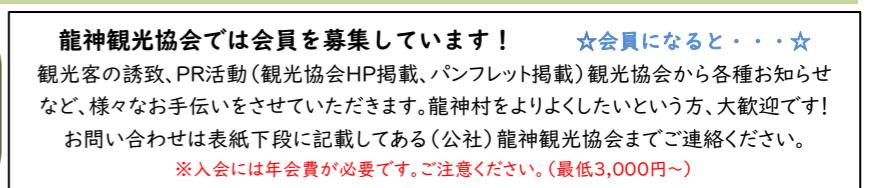
来年2024年(令和6年)の干支は辰年 龍。龍神村は村名に「龍」の文字が入っていることから辰年(龍)にちなみ、『2024年辰年キャンペーン』を開催いたします。キャンペーン内容は現在企画中ですが、龍神村に訪れていただいた方への嬉しい特典や楽しんでいただけるキャンペーンを予定しています。

今から12年前の辰年にもキャンペーンは行っており、期間中宿泊施設や飲食店等をご利用いただくとウェルカムドリンクの無料サービスが受けられたり、お土産品がもらえたり、また、『龍』『竜』『辰』の漢字が名前に使われている方には○%宿泊料金の割引キャンペーンなども行っておりました。12年に1度しかないこのキャンペーンは1年間を通して楽しめるものとなっていますので、1度だけでなく何度も龍神村に遊びに来てください！

また、「こんなキャンペーンをしてほしい」などの意見がありましたらぜひ龍神観光協会までご提案ください♪



お問い合わせ先:(公社)龍神観光協会
〒645-0415
和歌山県田辺市龍神村西376
TEL:0739-78-2222/FAX:0739-78-80



龍神観光協会では会員を募集しています！

☆会員になると・・・☆

観光客の誘致、PR活動（観光協会HP掲載、パンフレット掲載）観光協会から各種お知らせなど、様々なお手伝いをさせていただきます。龍神村をよりよくしたいという方、大歓迎です。

お問い合わせは表紙下段に記載してある(公社)龍神観光協会までご連絡